

令和4年度

ジャンプアップ研修 実施要項

徳島県教育委員会

目 次

I	ジャンプアップ研修の概要	1
II	所属校研修要項	2
III	教科等指導研修要項	3
IV	研修履歴の活用について	4
V	とくしま教員育成指標	
	・ 小学校教諭用	5
	・ 中学校・中等教育学校（前期課程）教諭用	6
	・ 高等学校・中等教育学校（後期課程）教諭用	7
	・ 特別支援学校教諭用	8
	・ 養護教諭用	9
	・ 栄養教諭用	10
VI	提出書類	とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表（記入例） 11
	【様式 A】	とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表
		・ 小，中・中等（前期課程），高・中等（後期課程）教諭用 12
		・ 特別支援学校教諭用 13
		・ 養護教諭用 14
		・ 栄養教諭・学校栄養職員用 15
	【様式 B】	とくしま教員育成指標に基づく自己評価表（記入例） 16
		とくしま教員育成指標に基づく自己評価表
		・ 小，中・中等（前期課程），高・中等（後期課程）， 17
		特別支援 教諭用
		・ 養護教諭，栄養教諭・学校栄養職員用 18
	【様式 C】	研究授業実施計画表 19
	【様式 D】	ジャンプアップ研修 研究授業実施報告書 20
	【様式 E】	欠席届 21
VII	G I G A スクール構想推進のための指導案例	22

I ジャンプアップ研修の概要

1 ねらい

採用後5年目の教諭等が、広い視野からこれまでの教職経験を振り返り、それぞれの使命を自覚するとともに、教諭等に求められる資質及びICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上と人的ネットワークの構築を図る。

2 主催

徳島県教育委員会

3 受講対象者

採用後5年目の小学校、中学校・中等教育学校（前期課程）、高等学校・中等教育学校（後期課程）、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員に対して実施する。

4 研修内容等

(1) eラーニング研修（令和4年4月28日～5月31日）

① 受講案内文書にあるURLにアクセスし、eラーニングを受講後、次の書類を作成し管理職員の確認後に下記提出先まで郵送（持参可）で提出すること。

ア 提出物

- ・とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表【様式A】
- ・とくしま教員育成指標に基づく自己評価表【様式B】
- ・研究授業実施計画表【様式C】
（NITSオンライン講座を視聴して取り組む）

※原本を必ず保管しておくこと。

イ 提出期日

令和4年6月3日（金）までに必着

(2) 所属校研修（eラーニング研修終了後～10月末）

① 「とくしま教員育成指標」に基づく自己評価を踏まえ、自己の課題を把握し、ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力向上に関するものを研究課題として設定する。校内での徳島型メンター制度を活用し、相互に授業を参観し、相談をしたり意見交換をしたりしながら研究を進める。

② 研究授業と研究協議を10月末までに1回以上実施する。その際、管理職員の参加により、指導助言を受けること。また、研究協議参加者からの意見・助言も踏まえて次の書類を作成し、管理職員の確認後に下記提出先まで郵送（持参可）で提出すること。

ア 提出物

- ・研究授業実施報告書【様式D】
- ・学習指導案（A4判、両面印刷）

イ 提出期日

令和4年11月2日（水）までに必着

※各提出物はミドルリーダー研修Ⅰや今後の自己研修においても活用するため、キーボード等で入力し保存・提出すること。（手書き不可）

(3) 教科等指導研修

① 次の書類を完成させて、管理職員の確認後に教科等指導研修に持参すること。

※「eラーニング研修」「校内での研究授業・研究協議」等で学んだことを反映させた内容にすること。

- ・とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表【様式A】
- ・とくしま教員育成指標に基づく自己評価表【様式B】
- ・学習指導案、授業で使った資料や教材等（教科別人数＋1部）
- ・研修履歴（「Ⅳ 研修履歴の活用について」参照）

② 徳島県立総合教育センターで開催する次の校種・職種別部会に参加すること。

令和4年11月25日（金）小学校部会

11月28日（月）中学校・中等教育学校（前期課程）部会、養護教諭部会、
栄養教諭・学校栄養職員部会

11月29日（火）高等学校・中等教育学校（後期課程）部会、
特別支援学校部会

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当
※ 封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と朱書きすること。

Ⅱ 所属校研修要項

1 目 的

学習指導要領の趣旨を実現するために、各教科等における資質・能力を確実に育成する上で、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組み、ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上を図る。

関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目

- ・素養「D 識見・学び続ける力」
- ・授業力「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善力」
- ・専門的職務実践力「養護教諭：B 保健教育」
「栄養教諭・学校栄養職員：H 教科等における教育指導」

2 期 日

eラーニング研修終了後～令和4年10月末まで

3 内 容

eラーニング研修終了後の課題「『とくしま教員育成指標』に基づく自己評価【様式A】、【様式B】」を踏まえ、自己の課題を把握する。eラーニング研修で視聴したNITSオンライン講座の学びを取り入れて、ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力向上に関するものを研究課題として設定し、「研究授業実施計画表【様式C】」を作成する。校内での徳島型メンター制度を活用し、互いに授業を参観して協議を重ねながら、教科等における授業改善の方法を探究し、課題解決に向けて研究を進める。

※【様式A】、【様式B】、【様式C】すべて令和4年6月3日（金）必着

〈研究授業について〉

小学校教諭は、これまで深く研究する機会がなかった教科等や苦手な教科等に取り組むよい機会と捉え、「各教科（道徳科、外国語科を含む）、外国語活動、特別活動、総合的な学習の時間」の中から選択すること。また、特別支援学級担任は、各教科等を合わせた指導、自立活動も選択できる。人権学習に取り組む場合は、教科名等を先に表記し、これが人権教育として展開されるものであることを「〇〇科（人権）」の形で併記する形式で報告すること。

中学校・中等教育学校（前期課程）及び高等学校・中等教育学校（後期課程）教諭は、担当教科（科目）で研究授業を実施する。なお、中学校の特別支援学級担任は、各教科等を合わせた指導、自立活動も選択できる。

特別支援学校教諭は、「各教科（科目）（道徳科、外国語科も含む）、外国語活動、各教科等を合わせた指導、総合的な学習（探究）の時間、特別活動、自立活動」の中から選択すること。

いずれの校種においても、ティーム・ティーチングの授業の場合は、T1として実施すること。

養護教諭は、保健学習（指導）でT1として実施すること。

栄養教諭・学校栄養職員は、教科等における「食に関する指導」をT2として実施すること。

学習指導案の形式は、総合教育センターWebサイト→教職員支援・学校支援→教科等の指導に役立つ情報→各校種・各教科のページや、ジャンプアップ研修実施要項p22「VIGASクール構想推進のための指導事例」、文部科学省のWebサイト等を参考に作成すること。

4 提出物

封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と朱書きし、研究授業で用いた学習指導案やワークシート等の資料（A4判両面印刷、ステイプラーやクリップ等で綴じない）と「研究授業実施報告書【様式D】」を管理職員の確認後に下記提出先まで郵送（持参可）で提出すること。

令和4年11月2日（水）までに必着

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当
※ 封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と朱書きすること。

Ⅲ 教科等指導研修要項

1 目 的

教科等における授業改善の方法を探究し、ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上を図る。また、人権教育及び情報モラル教育等の喫緊の教育課題等について実践事例や演習を通して意義や重要性についての正しい知識を身に付け、とくしま教員育成指標を踏まえた資質・能力の向上を図る。

関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目
・ 素養「C 人権尊重の精神」「D 識見・学び続ける力」
・ 授業力「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善力」
・ 専門的職務実践力 「養護教諭：B 保健教育」
「栄養教諭・学校栄養職員：H 教科等における教育指導」

2 期日及び会場 徳島県立総合教育センター 各研修室

令和4年11月25日（金） 小学校部会
11月28日（月） 中学校・中等教育学校（前期課程）部会、養護教諭部会、
栄養教諭・学校栄養職員部会
11月29日（火） 高等学校・中等教育学校（後期課程）部会、特別支援学校
部会

3 日程と内容

9：15～ 9：45 受付
9：45～10：00 開会、諸連絡
10：00～12：00 協議「ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上」
講師 学校経営支援課、教職員研修課、特別支援・相談課、
GIGAスクール推進課、学校教育課、人権教育課、
体育健康安全課 各担当者
12：00～13：00 昼食・移動
13：00～13：45 講義・演習「人権教育について」
講師 人権教育課 担当者
13：45～14：30 講義・演習「情報モラル教育について」
講師 GIGAスクール推進課 担当者
14：40～15：50 講義・演習「自分で切り拓くキャリアデザイン」
講師 学校経営支援課、教職員研修課、特別支援・相談課、
体育健康安全課 各担当者
15：50～16：00 諸連絡・アンケート記入、閉会

4 準備物

- ・ 筆記用具等（署名できるボールペン等を準備してください。）
- ・ 健康観察表
- ・ 「『とくしま教員育成指標』に基づく自己評価【様式A】、【様式B】」
※1度提出したものを完成させて管理職員に必ず確認をしていただくこと。
- ・ 研修履歴（「IV 研修履歴の活用について」を参照しプリントアウトする）
- ・ 学習指導案と授業で使った資料や教材等（教科別人数＋1部）
※教科別人数と受講者番号は後日文書にて通知する。

5 備 考

- (1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職員（緊急の場合は本人）がジャンプアップ研修担当に連絡してください。教職員研修課長により欠席が承諾された場合、管理職員は、総合教育センターのWebサイト又は本冊子に掲載しているジャンプアップ研修実施要項【様式E】「欠席届」を、速やかにメールに添付して送付してください。なお、送付は、学校代表もしくは管理職員のメールアドレスから行うようにしてください。
【送付先】総合教育センター教職員研修課 kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp
- (2) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル（夏はノー上着・ノーネクタイ等）で結構です。
- (3) 研修当日、午前7時（午後開催の場合は午前10時）の時点で研修会場を含む地域（総合教育センターの場合は「板野町」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、日程や準備物等の変更があることも想定されますので、その際には連絡いたします。
- (5) 昼食が必要な方は、当日に弁当（660円程度）の注文ができます。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、マスク着用と健康観察表の提出をお願いします。健康観察表は、研修日の2週間前から作成し、当日の受付で提出してください。

【連絡先】教職員研修課 ジャンプアップ研修担当 088-672-5100

IV 研修履歴の活用について

御自身のキャリアデザインのために研修履歴を次の手順で確認しましょう。

- 1 徳島県立総合教育センターのホームページを表示し、画面上部のタブの「教職員研修講座」をクリックします。表示された画面から「講座申込」をクリックします。



- 2 次に表示された「研修講座申込みシステム」の画面の右上の「ログイン」をクリックすると、また画面が変わるので、各自の職員番号とパスワードを入力してログインします。なお、初期パスワードは、職員番号の先頭に英数小文字のpを加えたものです。最初のログイン時に変更するようになっています。（変更後は、忘れないでください）

ユーザーIDとパスワードを入力してください

ユーザーID:

パスワード:

職員番号（半角数字7桁）

p（半角小文字）＋職員番号（半角数字7桁）
（例）p1234567

- 3 ログインできると、画面左側のメニューから「研修履歴表示」をクリックすると研修履歴の表示ができます。必要に応じて印刷して御活用ください。

教職員メニュー

パスワード変更

共通メニュー

お知らせ

申込み状況公開

研修講座実施要項

履歴

研修履歴表示

ようこそ 徳島 太郎 さん / [ログアウト](#)

研修履歴表示

15件のデータがありました。

☐ 基本研修の詳細表示

20件 ▼

学校	氏名	研修 種別	研修名・研修講座名	年度	受講日数 (回数)
"	"	"	学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	H23	1.0
"	"	"	徳島県中学校教育課程研究集会（総則）	H24	1.0
"	"	"	学校安全教室及び学校安全教育指導者講習会	H27	1.0
"	"	特別 研修	情報モラル教育研修会	H27	1.0

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○ 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	B 倫理観	○ 社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○ 家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	C 人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 児童一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○ 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 識見・学び続ける力	○ 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○ 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもち自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	E 社会性・コミュニケーション力	○ コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	A 児童生徒理解・指導	○ 児童理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○ 児童に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 児童の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○ 児童を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
	C 集団づくり力	○ 担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○ 学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○ 異年齢集団等様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。	
	D 課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○ 課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○ 学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけしている。	
	E 特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○ 特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○ 一人一人の教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○ 教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○ インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。	
	F 未来ビジョン育成力	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、児童の自己有用感を高めつつ、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できる素地を育てる指導をしている。	○ グローカルな視野と低・中・高学年のキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○ 学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。	
授業力	A カリキュラムマネジメント力	○ 学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○ 児童の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。	○ 児童の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学年や担当教科等の中心となって、長期的・継続的な改善策を提案し実践している。	○ 各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学年や担当教科等の中心となって、長期的・継続的な改善策を提案し実践している。	○ 地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。 ○ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。
	B 授業構想力	○ 児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を書いている。	○ 児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、様々な教材やICT等の効果的な活用を取り入れた授業を構想している。	○ 児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発やICT等の効果的な活用に取り組んだりしている。	○ これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法の研究に努め、改善につながる助言をしている。	
	C 授業実践力	○ 基本的な指導技術を身に付け、児童の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。 ○ 児童の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○ 育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・板書・最新のICT等の指導技術を身に付け、活用している。 ○ 児童の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための指導・支援をしている。	○ 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術や指導方法も積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。 ○ 学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	○ 幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、授業力向上を働きかけたりしている。 ○ 個別最適な学びと協働的な学びの充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。	
	D 授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○ 自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○ 校内や都市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○ 学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。	
協働力	A 組織マネジメント力	○ 組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○ グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○ 校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○ グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○ 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○ 学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	B OJT推進・人材育成力		○ 互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○ 互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
	C 危機管理能力	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の手態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○ 家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域や教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

担任力……………児童一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級の経営はもとより、学年、委員会活動、クラブ活動等、児童が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力……………学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わる。

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○教育の愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	B 倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	C 人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	E 社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	A 児童生徒理解・指導力	○生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。
	C 集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○学級集団をはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。		○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
	D 課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。		○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
	E 特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人一人の教育的ニーズを把握し、他の教職員と保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。		○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。
	F 未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、一人一人の進路選択、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるよう指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。		○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。
授業力	A カリキュラムマネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等理解している。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 ○学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。	○生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。 ○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学年や担当教科等の中心となって、長期的・継続的な改善策を提案し実践している。	○各学年間の系統や幼小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。
	B 授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を書いている。	○生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、様々な教材やICT等の効果的な活用を取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発やICT等の効果的な活用に取り組んだりしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法の研究に努め、改善につながる助言をしている。
	C 授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。 ○生徒の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・板書・最新のICT等の指導技術を積極的に身に付け、活用している。 ○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための指導・支援をしている。	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術や指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。 ○学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。		○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、授業力向上を働きかけたりしている。 ○個別最適な学びと協働的な学びの充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。
	D 授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。		○学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。
		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
協働力	A 組織マネジメント力					
	B OJT推進・人材育成力		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
	C 危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○地域教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

担任力…………… 生徒一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力…………… 学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わる。

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○ 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	B 倫理観	○ 社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○ 家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	C 人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○ 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 識見・学び続ける力	○ 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○ 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	E 社会性・コミュニケーション力	○ コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	A 児童生徒理解・指導力	○ 生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○ 生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		
	C 集団づくり力	○ 担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、ホームルーム経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○ ホームルームをはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○ 様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。		
	D 課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○ 課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。		
	E 特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○ 特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○ 一人一人の教育的ニーズを把握し、他の教職員と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○ 教育的ニーズに対応するための専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。		
	F 未来ビジョン育成力	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、生徒が勤労観・職業観を確立するとともに、自立した生活、社会における自己の役割についての認識を深め、社会を形成する一員として主体的に行動できるよう指導している。	○ グローカルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、社会的な自立に向けて、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。		
授業力	A カリキュラムマネジメント力	○ 学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○ 生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。	○ 生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学年や担当教科等の中心となつて、長期的・継続的な改善策を提案し実践している。	○ 各学年間の系統や幼小・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○ 地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。
	B 授業構想力	○ 生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を書いている。	○ 生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標・評価を関係付けて、様々な教材やICT等の効果的な活用を取り入れた授業を構想している。	○ 生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発やICT等の効果的な活用に取り組んだりしている。	○ 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術や指導方法も積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。	○ これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法の研究に努め、改善につながる助言をしている。
	C 授業実践力	○ 基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。 ○ 生徒の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○ 育成を目指す資質・能力の定着に向け、最新のICT等の指導技術を積極的に身に付け、活用している。 ○ 生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための指導・支援をしている。	○ 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術や指導方法も積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。 ○ 学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	○ 幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、授業力向上を働きかけたりしている。 ○ 個別最適な学びと協働的な学びの充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。	○ 幅広の情報に基づき、自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、授業力向上を働きかけたりしている。 ○ 個別最適な学びと協働的な学びの充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。
	D 授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○ 自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○ 研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○ 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術や指導方法も積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。	○ 学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。
協働力	A 組織マネジメント力	○ 組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○ グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○ 校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○ グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○ 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○ 学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	B OJT推進・人材育成力		○ 互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○ 互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
	C 危機管理能力	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となつて未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○ 家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

担任力…………… 生徒一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、ホームルームの経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力…………… 学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わる。

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○教育の愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	B 倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	C 人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○幼児児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	E 社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	A 幼児児童生徒理解・指導力	○幼児児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○幼児児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするともに、若手教員に助言をしている。	○幼児児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で幼児児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
	B 目標の明確化・実態把握力	○幼児児童生徒の実態把握の必要性を認識し、指導目標を明確にしようとしている。	○個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人一人の障がい特性を知り、特に配慮を必要とする様々な状態を理解している。	○各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、課題分析等の客観的な根拠に基づいた実態把握に取り組む、指導目標を明確にしている。	○障がい特性理解を深めるための効果的な研修の方策を理解し、教職員に研修を促したり、助言をしたりしている。	
	C 集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○一斉授業において、個別目標に対応した題材を設定したり、役割をもたせたりして、集団づくりの工夫を行っている。	○内容により学級、学年、学部で行うもの、他の学部と合同で行うもの等の集団構成を行い、幼児児童生徒同士のコミュニケーションを活発にし、自発的なコミュニケーションが増えるような集団づくりに積極的に取り組んでいる。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的な方策を提案している。	
	D 課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	○幼児児童生徒の障がい特性や指導の結果をもとに、自分の指導方法の修正を行うとともに、必要に応じて専門家と連携しながら、複数の教職員と課題発見や課題解決に向けてチームで取り組んでいる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。	
	F 未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○個別的教育支援計画や個別の指導計画にキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点をこえた目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立の目標達成に向け、日々の指導・援助をしている。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、就労支援機関、企業、福祉施設、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・助言をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。	
授業力	A カリキュラムマネジメント力	○教育要領・学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○幼児児童生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。	○各学年間の系統や幼小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	
	B 授業構想力	○幼児児童生徒の障がいや発達段階に適した授業イメージをもち、個や場面に応じた教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を作成している。	○アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用を取り入れた日々の保育や授業を構想している。	○幼児児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発やICT等の効果的な活用に取り組んだりしている。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法の研究に努め、改善につながる助言をしている。	
	C 授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、幼児児童生徒の学習の様子を把握しながら授業等を実践しようとしている。	○各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教具の活用による適切な指導・援助を行っている。	○学びの質や長期的な変容にも目を向け、幼児児童生徒一人一人の習得状況を把握するとともに、新しい指導技術・指導方法を積極的に取り入れ、適切に補充的・発展的な指導・援助を行っている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	
	D 授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。	○学習の習熟度や学習への参加状況を「～ができる」というポジティブな行動レベルで評価しており、担任と幼児児童生徒に全ての教員間で指導の効果を確認しながら、授業改善を行っている。	○様々な障がいのある幼児児童生徒の授業について、学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。	
協働力	A 組織マネジメント力	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。
	B OJT推進・人材育成力		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	C 危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携、協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○地域・教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動の推進している。

担任力…………… 幼児児童生徒一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級（ホームルーム）の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、幼児児童生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力…………… 学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わる。

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉	〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○ 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	
	B 倫理観	○ 社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○ 家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	
	C 人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○ 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	
	D 識見・学び続ける力	○ 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○ 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	
	E 社会性・コミュニケーション力	○ コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	
担任力	A 児童生徒理解・指導力	○ 児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○ 児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○ 児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。
	G 集団づくり力	○ 集団づくりの意義や基本的な指導方法の指導方法を身に付けている。	○ 学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿って、よりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○ 異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、集団相互の関わりを活性化させ、よりよい集団づくりに専門性を生かしながら取り組んでいる。	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
	D 課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気付き、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○ 課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○ 学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
	E 特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○ 特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○ 一人一人の教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○ 教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○ インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。
	F 未来ビジョン育成力	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるよう指導し、自覚を促している。	○ 発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○ 学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。
専門的職務実践力	A 保健管理	○ 学校保健安全法を理解し、児童生徒の実態把握の方法や基本的な健康管理の方法を身に付けている。	○ 児童生徒の発達段階に応じて見られる心身の疾病や障がい等を理解し、個々の健康課題を把握し、適切に対応している。	○ 保健情報を総合的に評価し、学校全体の実態を捉え、健康課題の解決に向けて校内の中心となって対応するとともに予防的措置を講じている。	○ 校内の教職員や近隣の学校の養護教諭と連携し、保健管理について指導的役割を果たすとともに、組織的に健康課題の解決を図っている。
	B 保健教育	○ 学習指導要領を理解するとともに、養護教諭の専門性を生かし、ICT等を効果的に活用した基本的な指導方法を身に付けている。	○ 養護教諭の役割を自覚し、学級担任等と連携し、ICT等を効果的に活用しながら、専門性を生かした保健教育をしている。	○ 養護教諭の専門性を発揮し、児童生徒の実態に応じた保健教育を実践し、評価・改善するとともに、ICT等を効果的に用いて、家庭・地域へ広めている。	○ 社会状況の変化と実態に応じた全体計画を作成し、ICT等を効果的に用いた保健教育を推進している。
	C 健康相談	○ 学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、心身の発達段階における健康課題に対する基本的な支援の方法を身に付けている。	○ 健康相談の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の発達段階の課題や現代的な健康課題との関連を踏まえた健康相談を実施している。	○ 心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や保護者と組織的に連携し、児童生徒に応じた支援方法を検討・評価しながら対応している。	○ 個々の健康課題から全体の課題を捉え、教職員の意識を高めるとともに、支援体制づくりに参画している。
	D 保健組織活動	○ 保健組織活動の意義と学校保健に関する学校内外の協力体制の重要性を理解している。	○ 保健組織活動の意義を理解し、企画運営に参画している。	○ 保健組織活動が効果的に実践できるよう内容の工夫改善を図るとともに、学校全体の健康課題の解決に向けて連携を推進している。	○ 近隣の学校や保健所等の地域レベルでの健康づくりを推進している。
	E 保健室経営	○ 保健室経営の在り方を理解し、基本的な保健室経営の方法を身に付けている。	○ 保健室の役割等を理解し、保健室経営計画に沿った実践・評価をしている。	○ 保健室経営の効果的な実践のため、最新の健康情報を得るとともに、工夫改善を図り、校内の健康教育のセンター的役割を果たしている。	○ 近隣の養護教諭や関係機関等との連携を密にするとともに、地域のリーダー的役割を果たし、保健室経営を効果的に実践している。
協働力	A 組織マネジメント力	○ 組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○ グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○ 学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。
	B OJT推進・人材育成力		○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○ 校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	C 危機管理能力	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○ 家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○ 地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

担任力…………… 児童生徒一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級（ホームルーム）の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、児童生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力…………… 学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わる。

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉	〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
素養	A 使命感・情熱・たくましさ	○ 教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○ 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	B 倫理観	○ 社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○ 家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	C 人権尊重の精神	○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○ 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 識見・学び続ける力	○ 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○ 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもち自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	E 社会性・コミュニケーション力	○ コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	A 児童生徒理解・指導力	○ 児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○ 児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるような意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○ 児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
	C 集団づくり力	○ 集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	○ 学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿って、よりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○ 異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、集団相互の関わりを活性化させ、よりよい集団づくりに専門性を生かしながら取り組んでいる。	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。	
	D 課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気が付き、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○ 課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○ 学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。	
	E 特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○ 特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○ 一人一人の教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○ 教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○ インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。	
	F 未来ビジョン育成力	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるよう指導し、自覚を促している。	○ 発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援している。	○ 学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。	
	F 学校給食の管理	○ 学校給食法を理解し、安全安心な学校給食管理を実践しようとしている。	○ 学校給食摂取基準に基づき、食品構成や調理作業工程を考慮した献立を作成している。	○ 地域や「徳島ならではの」創意工夫のある献立を作成している。また、残食調査等による状況把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。	○ 学校給食の運営管理に関し、各校や所属する市町村において指導的役割を果たしている。	
専門的職務実践力	G 個別的な相談指導	○ 児童生徒の食生活の現状を認識し、個に応じた相談指導の重要性を理解している。	○ 個別的な相談指導の流れを理解し、学級担任や養護教諭と相談しながら、適切な対応をしている。	○ 校内食育推進組織の中で、児童生徒の状況を総合的に評価し、関係職員や学校医等と連携しながら適切な対応をしている。	○ 個別的な相談指導の実践に関し、近隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験を基に助言をしている。	
	H 教科等における教育指導	○ 学習指導要領における食育の位置付けと、食育全体計画作成時の栄養教諭の役割を理解している。	○ 食育全体計画を作成し、学級担任等と連携しながら、給食時間の指導及び教科等における食に関する授業に、ICT等を効果的に活用し、参画している。	○ 児童生徒の実態に合わせた食育全体計画に沿って、食に関する授業に参画するとともに、ICT等を効果的に用いた食育実践を保護者等に発信することで、家庭や地域との連携を図っている。	○ 食育がより効果的に行われるよう、高い専門性を生かし、助言をしている。	
	I 食育コーディネーターとしての連携・調整	○ 食育を推進するための、学校内外の連携の方法や、重要性を理解している。	○ 食育コーディネーターとして、市町村学校食育推進委員会の運営に関わっている。	○ 市町村内各校の食育全体計画の作成や円滑な実践のための支援をしている。	○ 食育コーディネーターの指導的立場となり、関係機関と連携を図りながら、市町村学校食育推進委員会の運営に中心となっており、関わっている。	
	J 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	○ 食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。	○ 各教科等において、学校給食が「生きた教材」となるような献立づくりをしている。	○ 学校給食を「生きた教材」として活用するとともに、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かすことで、両者を一体のものとして展開している。	○ 学校給食の管理と食に関する指導の相乗効果が得られるように、教職員及び家庭、地域との連携を強化している。	
協働力	A 組織マネジメント力	○ 組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○ グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○ グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○ グループ目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。
	B OJT推進・人材育成力		○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○ 校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○ 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
	C 危機管理能力	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	D 家庭・地域とのネットワーク構築力	○ 家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域の教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

担任力……………児童生徒一人一人を大切に、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級（ホームルーム）の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、児童生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力……………学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力。徳島教育大綱に示されている「未知の世界に果敢に挑戦する」力の育成と大きく関わっている。

Ⅵ 提出書類

【様式A】 とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表（記入例）

【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

小 10

【自己評価方法】

①とくしま教員育成指標を参考に、各項目ごとに自分の現状に合うように整理して文章で入力する。
ジャンプアップ研修実施要項（p5～p10）にある、とくしま教員育成指標を参考にしてください。

②自分に当てはまるものを次のように**数値化**する。

あてはまる…4 だいたいあてはまる…3 少しあてはまる…2 あてはまらない…1

③「素養」「担任力」「授業力」「協働力」の大きなまとまりごとに平均を出して、**チャート【様式B】**に入力する。

1回目の提出時には、
空白でよい。

学 校 名		〇〇市△△小学校		職・氏名		教諭・□□ □□	
担当教科		音楽		校務分掌		安全教育	
資質・能力						自己評価のチェック	
						実施日（ 5/13 ）	実施日（ ）
項目		具体的内容		評価	平均	評価	平均
素 養	A	使命感・情熱・たくましさ	使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。				
	B	倫 理 観	保護者の信頼に応え、法令等の遵守を心掛けている。				
	C	人権尊重の精神	とくしま教員育成指標に示された資質・能力を読み、 大切な表現を整理して入力する。				
	D	識見・学び続ける力					
	E	社会性・コミュニケーション力					
担 任 力	A	児童生徒理解・指導力			6月3日（金）までに、色の付いているところに入力して提出する。		教科等指導研修実施日までに完成させ、研修日に持参する。
	C	集団づくり力					
	D	課題解決力					
	E	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力					
	F	未来ビジョン育成力					
授 業 力	A	カリキュラムマネジメント力					
	B	授業構想力					
	C	授業実践力					
	D	授業省察力・改善力	【自己評価の活用について】 ①自己評価から見てきた自分のよさや課題を整理する。 ②自己分析を踏まえて、本年度の目標を設定する。				
協 働 力	A	組織マネジメント力					
	B	OJT推進・人材育成力					
	C	危機管理能力					
	D	家庭・地域とのネットワーク構築力					

【様式A】 小、中・中等（前期課程）、高・中等（後期課程）教諭用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

--

学 校 名				職・氏名			
担当教科				校務分掌			
資質・能力						自己評価のチェック	
						実施日()	実施日()
項目		具体的内容		評価	平均	評価	平均
素養	A	使命感・情熱・たくましさ					
	B	倫理観					
	C	人権尊重の精神					
	D	識見・学び続ける力					
	E	社会性・コミュニケーション力					
担任力	A	児童生徒理解・指導力					
	C	集団づくり力					
	D	課題解決力					
	E	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力					
	F	未来ビジョン育成力					
授業力	A	カリキュラムマネジメント力					
	B	授業構想力					
	C	授業実践力					
	D	授業省察力・改善力					
協働力	A	組織マネジメント力					
	B	OJT推進・人材育成力					
	C	危機管理能力					
	D	家庭・地域とのネットワーク構築力					

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし、6月3日(金)までに郵送してください。

【様式A】 特別支援学校教諭用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

特

学 校 名				職・氏名			
担当教科				校務分掌			
資質・能力				自己評価のチェック			
				実施日()		実施日()	
項目		具体的内容		評価	平均	評価	平均
素養	A	使命感・情熱・たくましさ					
	B	倫理観					
	C	人権尊重の精神					
	D	識見・学び続ける力					
	E	社会性・コミュニケーション力					
担任力	A	幼児児童生徒理解・指導力					
	B	目標の明確化・実態把握力					
	C	集団づくり力					
	D	課題解決力					
	F	未来ビジョン育成力					
授業力	A	カリキュラムマネジメント力					
	B	授業構想力					
	C	授業実践力					
	D	授業省察力・改善力					
協働力	A	組織マネジメント力					
	B	OJT推進・人材育成力					
	C	危機管理能力					
	D	家庭・地域とのネットワーク構築力					

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし、6月3日(金)までに郵送してください。

【様式A】 養護教諭用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

養

学 校 名			校務分掌				
職・氏名							
資質・能力			自己評価のチェック				
			実施日()		実施日()		
項目		具体的内容	評価	平均	評価	平均	
素養	A	使命感・情熱・たくましさ					
	B	倫理観					
	C	人権尊重の精神					
	D	識見・学び続ける力					
	E	社会性・コミュニケーション力					
担任力	A	児童生徒理解・指導力					
	C	集団づくり力					
	D	課題解決力					
	E	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力					
	F	未来ビジョン育成力					
専門的職務実践力	A	保健管理					
	B	保健教育					
	C	健康相談					
	D	保健組織活動					
	E	保健室経営					
協働力	A	組織マネジメント力					
	B	OJT推進・人材育成力					
	C	危機管理能力					
	D	家庭・地域とのネットワーク構築力					

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし、6月3日(金)までに郵送してください。

【様式 A】 栄養教諭・学校栄養職員用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価チェック表
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

栄

学 校 名			校務分掌						
職・氏名									
資質・能力					自己評価のチェック				
					実施日()		実施日()		
項目		具体的内容			評価	平均	評価	平均	
素養	A	使命感・情熱・たくましさ							
	B	倫理観							
	C	人権尊重の精神							
	D	識見・学び続ける力							
	E	社会性・コミュニケーション力							
担任力	A	児童生徒理解・指導力							
	C	集団づくり力							
	D	課題解決力							
	E	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力							
	F	未来ビジョン育成力							
専門的職務実践力	F	学校給食の管理							
	G	個別的な相談指導							
	H	教科等における教育指導							
	I	食育コーディネーターとしての連携・調整							
	J	食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開							
協働力	A	組織マネジメント力							
	B	OJT推進・人材育成力							
	C	危機管理能力							
	D	家庭・地域とのネットワーク構築力							

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし、6月3日(金)までに郵送してください。

【様式B】

とくしま教員育成指標に基づく自己評価表(記入例)
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

高10

1回目の提出時には、
空白でよい。

学 校 名	〇〇高等学校	職・氏名	教諭・□□ □□
担当教科等	保健体育	校務分掌	生徒指導
授業力 担任力 協働力 素養 5月 11月		自己分析	実施日(5/13)
		○よさ 第1ステージ 基盤形成期における達成度を記入してみましょう。 成長の度合いを客観的にみてみましょう。 ○課題	

【自己分析に基づく本年度の目標】※どんなことに取り組むか、具体的に書きましょう。

6月3日(金)までに色の付いているところに入力して提出する。

【本年度の振り返り】※「自己評価チェック表」を基にして、どんな資質・能力が高まったか等について書きましょう。

教科等指導研修実施日までに、必ず管理職員に確認してもらい
完成させたものを研修日に持参する。

記入漏れが多い箇所です。確認してください。

〇〇高等 学校長

徳 島 太 郎

【様式B】 小，中・中等（前期課程），高・中等（後期課程），特別支援 教諭用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価表

【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

--

学 校 名		職・氏名	
担当教科等		校務分掌	
授業力 担任力 協働力 素 養 5月 11月		自己分析	実施日()
		○よさ	
		○課題	

【自己分析に基づく本年度の目標】※どんなことに取り組むか，具体的に書きましょう。

--

【本年度の振り返り】※「自己評価チェック表」を基にして，どんな資質・能力が高まったか等について書きましょう。

--

学校長

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし，6月3日（金）までに郵送してください。

【様式B】 養護教諭，栄養教諭・学校栄養職員用
とくしま教員育成指標に基づく自己評価表
【第1ステージ 基盤形成期 ジャンプアップ研修】

--

学 校 名		校務分掌	
担当教科等			
専門的職務実践力 担任力 協働力 5月 11月 素 養		自己分析	実施日()
		○よさ	
		○課題	

【自己分析に基づく本年度の目標】※どんなことに取り組むか，具体的に書きましょう。

--

【本年度の振り返り】※「自己評価チェック表」を基にして，どんな資質・能力が高まったか等について書きましょう。

--

学校長

【提出先】 〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修課題在中」と
朱書きし，6月3日（金）までに郵送してください。

【様式C】 研究授業実施計画表

ジャンプアップ研修では、ICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力のさらなる向上を目指しています。学習指導要領の趣旨を実現するために、各教科等における資質・能力を確実に育成する上で、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組み、研究授業を行ってください。

授業実践の際には、授業記録を残しておきましょう。「教科等指導研修」での研究協議時に活用することができます。自身の指導や評価に生かすためにも、画像や映像を保存しておくといでしょう。

《研究授業実施計画表作成の留意点》

- ☐ 研究課題の設定は、教科、単元・題材の特性等や児童生徒の実態、自身の現状（自己評価の結果）等を踏まえて行うこと。
- ☐ 課題解決のための方策として、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にした上で、育成するための工夫・改善、自身の実践的指導力の向上のための工夫・改善について考えること。
- ☐ eラーニング研修で視聴したNITSオンライン講座から学んだことや、校内の徳島型メンター制度を活用して得た知見等を踏まえて授業づくりに取り組むこと。

校 種 等	☐ 小 ☐ 中 ☐ 高 ☐ 特 ☐ 養 ☐ 栄 （クリックして☑してください）		
学 校 名		氏 名	
NITSオンライン講座視聴タイトル			
講座を視聴して学んだこと・今後に生かしたいこと			
授 業 日	令和 4 年 月 日（ ）		
学 年 ・ 教 科 等	（ ）年 ・ （ ）		
単 元 名 等			
研 究 課 題			
課題設定の理由			
課題解決のための方策			

※特別支援学級で授業を行う場合、「学年・教科等」に、「特別支援学級（障がい種）〇年・（教科）」と記入してください。

6月3日（金）必着を厳守してください。

【様式D】 ジャンプアップ研修 研究授業実施報告書

[illegible]

【提出先】 千 779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷 1-7
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 ジャンプアップ研修担当

※封筒の表に「ジャンプアップ研修研究授業実施報告書在中」と朱書きし、学習指導案やワークシート等の資料を添付して11月2日（水）までに届くように郵送してください。

令和4年 月 日

徳島県立総合教育センター所長 殿

学 校 名
校長氏名

欠 席 届

次のとおり，本校職員がジャンプアップ研修を欠席しますのでお届けします。

1 職 氏 名

2 研 修 講 座 名

3 欠席する期間	令和4年	11月	日	曜日から
	令和4年	11月	日	曜日まで
				() 日間

4 欠 席 の 理 由

②メールの件名は **【欠席届】ジャンプアップ研修** としてください。

- 21 -

VII GIGA スクール構想推進のための指導案例（全校種 全教科・領域共通）

（例：中学校英語科 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 6）

6 本 時（第7時）

（1）目 標

自分の学校にある（いる）自慢のもの（人）について紹介する文を書くことができる。

（2）展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価 方法
5分	1 挨拶・ウォームアップをする。	・簡単な Q&A や Small Talk により，英語の授業の雰囲気づくりに努める。		
10分	2 セクション 1～3 の内容について復習する。	・これまでの授業で配付し，生徒が各自タブレットに保存している地図や写真，表などを見ながら音声を聞かせ，セクション 1～3 の概要を再確認させる。 ・電子黒板で画像を提示しながら Q&A を行い，本文の正確な内容を確認させる。		
5分	3 ボイヤンさんの取組についての感想を発表する。	・ボイヤンさんの取組について感じたことを，タブレットのノートに書いて共有させる。		
20分	4 自分の学校にある（いる）自慢のもの（人）を紹介する英文をタブレットのワークシートに書く。	・前時に作成したマッピングを用いて，自分の学校にある（いる）自慢のもの（人）を紹介する英文を，入力スキルの差に配慮しながらタブレットのワークシートに書かせる。 <評価のポイント> ・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。 ・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。	知・思・態 （各教科・領域の記入例で）	作品
10分	5 本時のまとめをし，次時の予告と家庭学習の確認，挨拶をする。	・作品をいくつか紹介し，優れた表現を共有するとともに，次時の予定（紹介文の発表）とその準備（家庭学習）をして伝える。		

情報活用能力の評価規準は記入しない。

1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し，枠で囲む。

（3）評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	自分の学校にある（いる）自慢のもの（人）について，関係代名詞を含め既習表現を用いたり，主体的に辞書等で調べたりしながら，まとまりのある英文で正確に書くことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	関係代名詞を使って書かれた，ものや人を紹介する文を例示したり，単語や表現したいことを辞書やタブレット端末等を使って調べる支援をしたりする。